

知って備える 防災メモ

第71回



寒さから命を守る

寒さが身に染みる季節を迎えました。登別市は、北海道の中では比較的温暖な地域ですが、時には氷点下10度を下回ることもあります。

災害は季節を問わず突然発生しますが、自然災害に伴って停電が発生した場合は、長期化する傾向にあります。

実際に、平成24年11月に市内で発生した大規模停電は、復旧までに最大で4日間を要し、寒さへの対策が必要となりました。

寒さは、急激に体力を消費させ、最悪の場合、命を奪うこともあります。自分と家族を守るため、有事のためにしっかりと寒さに備えましょう。

コンセントを必要としない暖房器具を

室内を広く暖めることができるFF式ストーブやエアコンは、停電時もちろん、大雪の場合も排気筒や室外機が雪に埋まり、使用できないことがあります。卓上カセットコンロなどを使用するカセットボンベを利用したポータブルストーブや電池式の灯油ポータブルストーブを備えておくことで、ストーブ本体はもちろん、灯油やガ

スポンベ、電池など、自宅で普段から使用しているものを余裕をもって買い置きし、使った分を補充することで、突然の災害への備えとなります。

なお、室内で暖房器具を使う場合は定期的な換気を忘れてはいけません。使用中はその場から離れないなど、火災についても、十分注意しましょう。



多めの買い置きが備蓄に

防災用ブランケットはお持ちですか

保温性の高いアルミ素材のブランケットは、薄く小さく折りたたむことができ、持ち運びはもちろん、車に備えておくこともできます。使い捨てカイロと併用することで、コタツのように使用することもできますので、暖房器具が故障した場合の備えとなります。

▼問い合わせ

総務グループ (☎**85** 1 1 3 0)

人が輝き まちがとぎめく

仲間たち

Group

登別子ども劇場

『登別子ども劇場』は、文化芸術や遊びの体験を通して、地域で子どもたちを育んでいこうと平成3年に登別市に誕生した団体です。会員は、子どもから大人までの73人。6つのサークルごとに月1回程度活動を行うほか、会として年に数回開催する鑑賞例会、お泊まり会やピクニックなど、1年を通じてさまざまな活動を行っています。

運営委員長の藤村和美さんは、「人との付き合いが希薄化しているといわれますが、子ども劇場が目指す地域での仲間づくりは、学校と家庭をつなぐ大切な取り組みです。子どもや大人が一緒に遊んで遊ぶ、ふれあう『登別子ども劇場』は、会員に



地域で暮らす人が集い、ふれ合うことで、豊かな成長を支える

また、子どもにとって接する機会の少ない親以外の大人との交流は、子どもにとっても、大人にとっても良い刺激となっている登別子ども劇場での活動。サークル活動は、会員同士で予定を合わせながら行っているため、働いている方も気軽に参加できるという同団体に興味のある方は、藤村さん(☎**86** 7 7 5)まで。

とってかけがえのないものになっています」と笑顔で話してくれました。会員全員が一緒になって見る鑑賞例会は、毎年、マジシャンやプロの劇団員など、さまざまな分野の人たちを招いており、喜びや驚き、悲しみなどを共有することで豊かな感性を育てているといえます。



▲全国で縄跳びパフォーマンスを行っている粕尾将一さんを招き、大人もまじって縄跳びを教えた11月の鑑賞例会